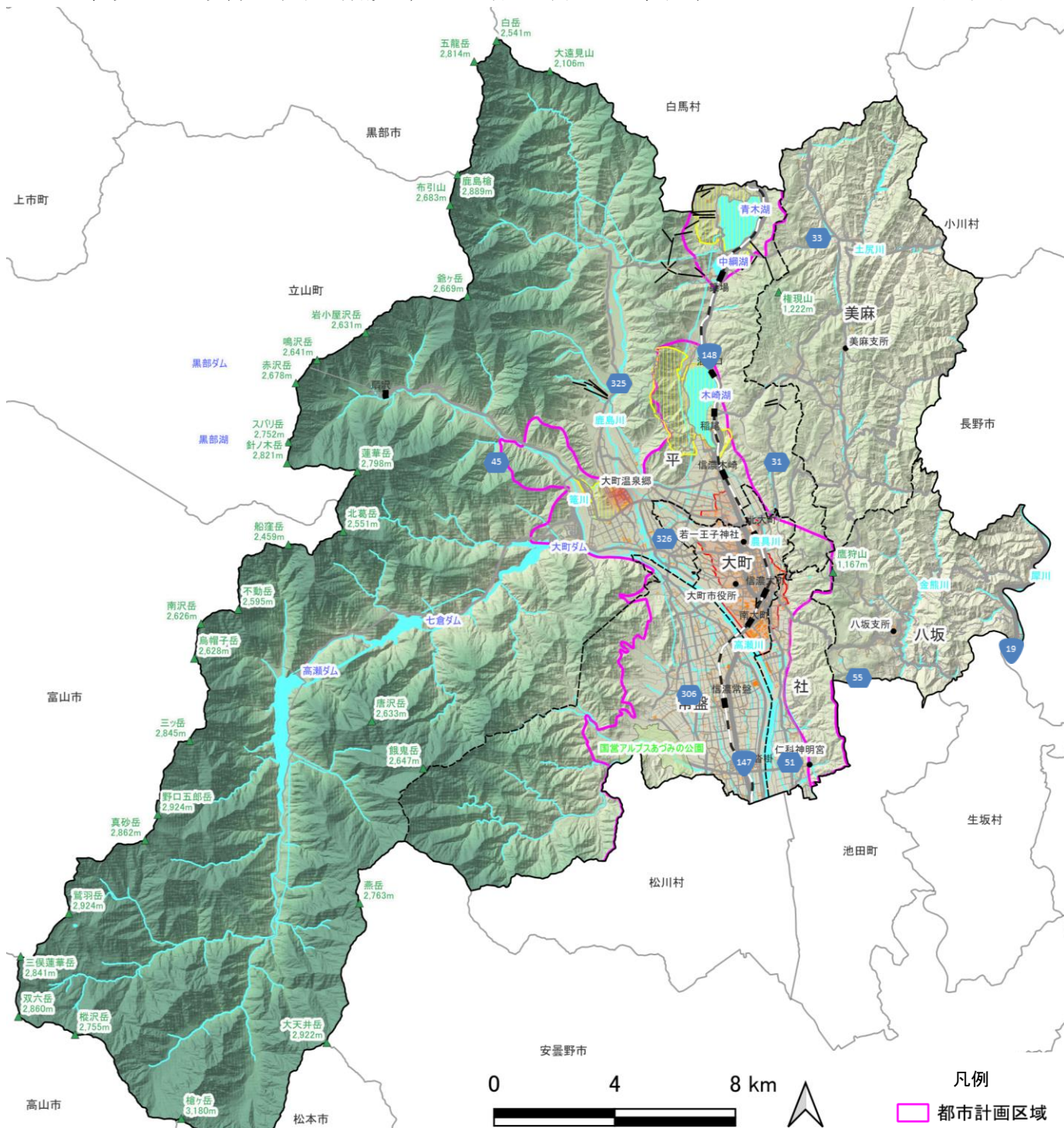


大町市の景観の魅力と課題

現行の長野県の景観計画の枠組みから外れ、大町市独自の計画を新たに定める今回の取組では、本市の特性を踏まえ、大町市らしさを引き出すことがとくに重要と考えています。

そのため、本市の景観の魅力やそれを育む暮らしや産業のあり方、顕在化している景観上の課題等をきめ細かく捉え、さらなる魅力の醸成や未来への継承、課題の解決や将来の景観悪化の未然防止の手段・しくみとして有効に機能する計画にすることが求められます。

第1回の委員会では、これらの魅力や課題について、委員の皆さまから幅広い意見をいただきたいと考えておりますので、ご準備いただければ幸いです。参考として、下図に大町市の概況を示し、次ページ以降に本市の景観の魅力と課題の例として、簡単に整理しましたのでご参照くだ



大町市の概況

(1) 大町市の景観の魅力 (例示)

① 山岳・森林・別荘

- 3,000m級の名峰が連なる北アルプス
 - ➡鹿島槍、爺ヶ岳、蓮華岳
- 高低差で変化に富んだ四季折々の森林の彩り
 - ➡ヤマザクラ、紅葉、雪渓
- 遠景のアルプスを望む豊富な眺望スポット
 - ➡鷹狩山、山岳博物館、市民の森



② ダム・湖・河川・渓谷

- 圧倒的な迫力のダムと自然のコントラスト
 - ➡大町・七倉・高瀬・黒部ダム
- 眺めや多彩なアクティビティを楽しめる仁科三湖
 - ➡木崎湖、中綱湖、青木湖
- 山とまちをつなぐ川と水辺の景観
 - ➡高瀬川、鹿島川、農具川



③ 田園集落

- 周囲の山並みや農地と調和した集落
 - ➡田園、畑地、各地域の農村集落
- 身近に緑を感じられる公園や沿道植栽
 - ➡国営アルプスあづみの公園、各地域の道路
- 伝統文化を継承する寺社仏閣や祭り
 - ➡仁科神明宮、若一王子神社、流鏝馬



④ 里山集落

- 菜の花やそば畑が美しい美麻地区
 - ➡中山高原、水車小屋
- 八坂の生業を支える重太郎の棚田
 - ➡日本の棚田百選
- 仏像や伝説が残る地
 - ➡藤尾の観音様、大姥山、天狗岩



⑤ まちなか・温泉街

- 千国街道の面影を醸し出す歴史的な建造物
 - ➡ちょうじや、創舎わちがい
- 日常・非日常の賑わいを生み出す中心市街地
 - ➡アーケード、名店街
- 落ち着いた雰囲気の旅館やホテルが並ぶ温泉街
 - ➡大町温泉郷



(2) 大町市の景観上の課題に関連する要素 (例示)

① 野立ての太陽光発電パネル

○市内には現在、約 163 か所・54.0ha の野立ての太陽光発電施設が分布 (右図)。

○農地転用の不要な営農型も普及。

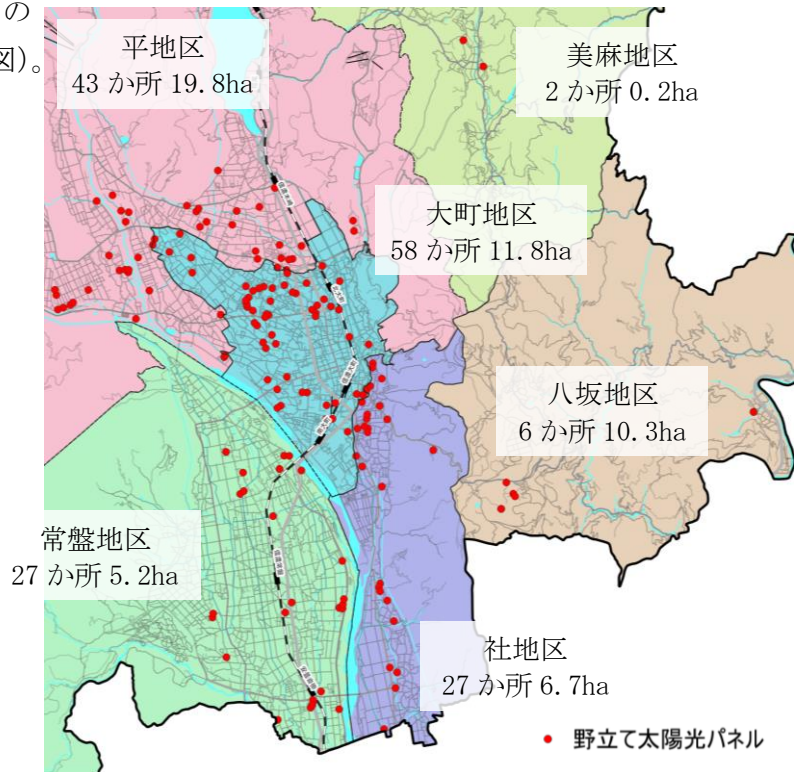
- ➡ 良好な眺望景観との調和
- ➡ 太陽光設置条例との連携



野立ての太陽光発電施設



野立ての営農型太陽光発電施設



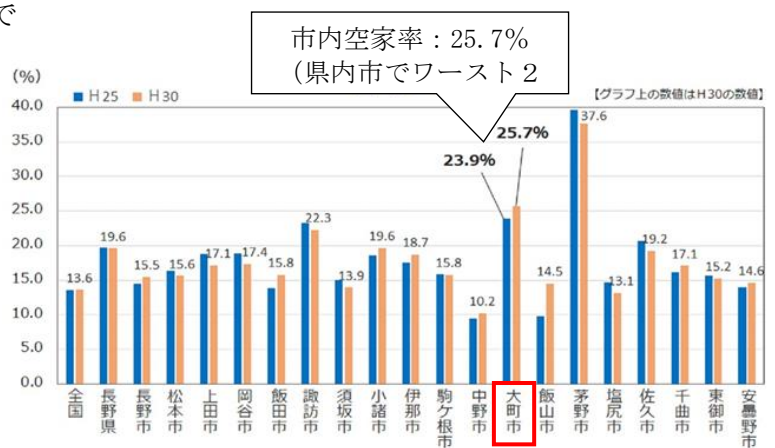
※航空写真 (令和 4 年度) から GIS 上で判読・集計による (参考)
市内の野立て太陽光発電施設の分布状況

② 空き家

○市内の空き家の増加、県内市のなかでも高い空き家率 (右図)

- ➡ 良好な景観への悪影響
- ➡ 空き家対策計画との連携*

*空き家等対策法に基づく特定空き家等の指定要件
「著しく景観を損なっている状態」判断の基準



※平成 30 年住宅・土地統計調査に基づく資料の引用
長野県内市の空き家率 (H25・H30)

③ 耕作放棄地

○耕作放棄地の増加 (遊休荒廃地化の進行)

- ➡ 良好な景観への影響
- ➡ 規制的手段による対応の限界
- ➡ 景観農業振興地域整備計画制度の活用
- ➡ 農振法や農地法、農業振興施策との連携

耕作放棄地：180ha
(農林業センサス)



＜補足＞今後の計画検討に向けて

本計画の検討においては、現行計画である長野県景観育成計画の内容をベースにしつつ、本市の景観特性や課題を踏まえ、市民の皆さんの思いを反映させながら、本市によりふさわしい目標や方針を定めて、きめ細かな基準や、良好な景観づくりに資する主体的な取組の支援や促進を図るしくみを見出していきたいと考えています。

必要に応じ、景観法に基づく各種制度の活用のほか、市独自の制度導入も検討しつつ、一方で、既存の関係法令や計画との連携や整合を図り、運用面で過大な負担も生じないよう考慮しながら、計画制度の構築を目指す考えです。

また本計画は、本委員会を通じていただくご意見のほか、市民の皆さんを対象にしたアンケートや地区ワークショップ等を通じて得るご意見等を踏まえ、現状・課題を的確に把握したうえで方向性を見出し、計画の骨子や素案を提示し、段階的に成案化してまいります。